

能代市青少年健全育成方針策定



一体となって青少年の健全育成に取り組みましょう

市の未来を担う青少年を健全に育成するため、家庭・学校・地域それぞれが目指す目標や取り組みべき事項をまとめた能代市青少年健全育成方針（中期計画）を策定しました。

市では、出前講座や生涯学習講座といった学ぶ場を通じて目標達成に取り組みます。この機会に、青少年の健全育成について考えてみませんか。

振興課 ☎73・5285

計画の期間 令和5～9年度

目標

- ①心とからだの成長を支援
健康で安心して心と体を成長できる生活基盤・支援体制の整備に努めます。
- ②社会参加活動への支援
自立につながる学びと体験の提供を支えます。
- ③健全な社会環境づくりへの支援
居場所づくりや非行防止・有害環境からの保護に努めます。

- ④家庭・学校・地域・職場・関係機関と連携した支援
青少年の健全育成のため、社会全体で取り組むことに努めます。

令和5年度能代市青少年健全育成活動方針

この中期計画で示した目標の達成に向け、今年度、重点的に取り組むべき目標を定めた能代市青少年健全育成活動方針を策定しました。

重点的な取り組み

- 青少年とともに大人も学ぶ**
家庭・学校・地域・職場・関係機関と連携して次の3つに重点的に取り組みます。
- ①家庭教育関連講座など、青少年と保護者がともに学ぶ機会を提供します。
 - ②社会参加活動など、青少年の自立につながる活動に協力します。
 - ③家庭・学校・地域で、有害環境対策に取り組みます。

高齢者用肺炎球菌予防接種

今年度対象になる方には、4月に予診票をお送りしました。接種の際は、あらかじめ医療機関に予約してください。

対象 65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳、満60歳以上満65歳未満で心臓や腎臓、呼吸器の機能またはHIVによる免疫の機能に身体障害者手帳1級程度の障がいがある方（接種希望の方は事前に健康づくり課にご連絡ください）

※これまで高齢者用肺炎球菌ワクチン（23価肺炎球菌荚膜ポリサッカライドワクチン）を接種した方は対象外です。

期間 令和6年3月31日まで

費用（自己負担額）
各医療機関が設定する料金から4000円（市の助成額）を引いた額

※今回の対象者の助成は今年度のみとなります。この期間に接種できなかった場合は、全額自己負担となりますのでご注意ください。

持ち物 予診票、健康保険証 または介護保険証、身体障害者手帳をお持ちの方は手帳

問合せ 健康づくり課 ☎58・2838

※新型コロナウイルスとの接種間隔は、13日以上空けるようにしてください。

肺炎球菌感染症とは？

せきやくしゃみなどを通じて感染し、気管支炎や肺炎、敗血症などの重い合併症を引き起こすことがある感染症です。

肺炎球菌には、90種類以上の血清型があり、定期接種で使用する「23価肺炎球菌荚膜ポリサッカライドワクチン」は、そのうちの23種類の血清型に効果があります。この23種類の血清型は、成人の重症の肺炎球菌感染症の約6～7割を占めるとい研究結果があります。